

# 防災教育だより

## 第2回研究全体会を行いました。

2月13日(火)に第2回研究全体会を開き、今年度の防災教育の取り組みの振り返りと今後の課題について話し合いました。

以下の資料は、本校の研究主任が作成した実践研究報告書を抜粋したものです。資料を見ながら、今年度行ってきた防災教育について振り返りを行いました。



令和5年度  
第2回学校防災アドバイザー連絡協議会資料



地域連携型学校防災体制等構築推進事業実践研究協力校  
富谷市立富ヶ丘小学校  
研究主任 阿部 太輔

(2)地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

① 地域や関係機関等と連携した学校防災マニュアルの見直し及び避難訓練の実施

イ)10月29日(日)富谷市総合防災訓練へ参加



- 児童は、保護者と各自の一次避難所へ避難(自分の一次避難所を覚える)
- 各一次避難所での防災訓練・活動に参加
- 本校体育館での防災訓練(バケツリレー・炊き出し訓練)

(2)地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

③ 教職員の災害対応力を養成する校内研修等の実施

オ)震災遺構石巻市立門脇小学校 訪問



語り部ガイド 震災当時小学校長 鈴木 洋子 氏

参加者の感想(一部)

鈴木洋子先生の話が胸に響きました。私たちも普段から避難訓練を真剣に行っているけれども、それ以上の真実さを子供たちにも伝え、感じる時間を作りたいと思いました。

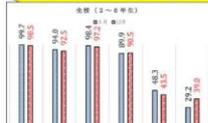
(2)地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

④ 被災地訪問等を取り入れた児童生徒の防災意識を高める防災教育の実施

オ)児童アンケート(結果と考察)

【設問】

- 1 自分や家族、友達の名は大切だと思いますか。
- 2 いつも、自分の体や命を大切に行動していますか。
- 3 学校で災害が起きた時、自分がどのように行動すべきか、分かっていますか。
- 4 学校以外で災害が起きた時、自分がどのように行動すべきか、分かっていますか。
- 5 災害が起きた時、自分はどう行動すべきか、家族と話しますか。
- 6 災害が起きた時、地域の方々とのように行動すべきか、家族と話しますか。



【考察】

- (1)設問1-2について 防災教育のみならず、道徳科をはじめとする全教育活動で高め、100を目指していきたい。
- (2)設問3-4について 自らの行動や意識について内省しての結果とも考えられる。
- (3)設問5-6について 学校と家庭が連携する視点を大切にしていきたい。

(3)成果(○)と課題・今後に向けて(△)

- カリキュラム・マネジメント ○ 防災教育を教育課程に位置付け
- 研究授業としての取り組み ○ 児童が「自分事として捉える事」の大切さ  
地域の災害特性の理解
- 防災マニュアルや各種訓練の見直し ○ 実際の災害をより想定した実践
- 富谷市総合防災訓練への参加 ○ 児童が自らの一次避難所 地域とのつながり
- ・ 系統的な指導計画と実践の蓄積
- ・ 保護者や地域との連携の更なる強化(引き渡し経路・防災訓練内容の共通理解)
- ・ 中学校区との同時引き渡し訓練(令和7年度実施)に向けての整備

特に、系統的な防災教育に向けた各学年の主な活動や、地域や家庭との連携の更なる強化については、次年度への大きな課題となりました。

来年度もより良い防災教育を目指してまいりますので、ご理解とたくさんのご協力をよろしくお願いいたします。



学校ホームページに、今年度のまとめを掲載しております！どうぞご覧ください！



[https://tomiya-tomigaokaes.edumap.jp/cabinets/cabinet\\_files/index/12/7f9d8bdd0c667d96a0501772e44ef804?frame\\_id=23](https://tomiya-tomigaokaes.edumap.jp/cabinets/cabinet_files/index/12/7f9d8bdd0c667d96a0501772e44ef804?frame_id=23)